

# きぼうへの かけはし

目次

- P1…対談 ～これからの高砂市の医療について～
- P2…特集「発達性読み書き障害」
- P4…新任医師紹介  
ふらり、診療所紹介の旅
- P6…部署紹介「中央放射線室」
- P7…幼児作品展示  
健康レシピ  
患者さまへのお知らせ
- P8…高砂市医師会生涯教育研修会報告  
学会発表～症例と取り組み～

## 対談 ～これからの高砂市の医療について～



増田高砂市医師会会長と大野高砂市民病院事業管理者

**大野:** 増田会長、お忙しいところお越しいただきありがとうございます。

今日は「医師会と市民病院がどのように連携して少子高齢社会に対応していけばよいか」についてお話を伺いたいと思います。

**増田:** 高砂市は人口約9万人ですが、65歳以上の高齢者の割合は29%で、2040年には35%になります。国は地域包括ケアシステムといって、高齢者が住み慣れた地域で安心して自分らしく住み続けることができるようなシステムを2025年までに構築しようとしています。それには、自宅で急変した時に病院で診てもらえるかどうかが一番重要なポイントだと思います。

**大野:** 医師が不足している状況ですが、できる限り急変時の対応をして、皆さんに安心していただけるようにしたいと思います。

ところで、近くに加古川中央市民病院が出来てほぼ4年になり、東播地区の医療環境は大きく変わりました。市民病院にはどのような役割が求められていますか。

**増田:** まずは、市民病院には、災害医療、感染症対策医療、救急医療、地域医療など、高砂市の住民にとってなくてはならない公共的役割があると思います。

**大野:** 公立病院の使命ですね。

**増田:** 一方で、これから更に進む高齢化に向けた体制づくりが必要となります。高砂市を含む東播磨医療圏という広域の中で、各病院の役割分担を協議し、機能分化と連携を進め、効率的に医療を提供できるような地域医療構想が求められています。

**大野:** 効率的に質の高い医療を提供するには、機能分化は必要なことですね。

**増田:** 高砂市民病院にとっては、東播磨医療圏の中で最も近い加古川中央市民病院との機能分化・役割分担を考え、高度専門医療を含む超急性期医療は加古川中央市民病院と連携するのが地域にとってもよいと思います。現在、協力いただいている外来診療医師の派遣を含め、更なる連携を深めていくことが大切だと思います。

**大野:** 医療が高度専門化してきていますからね。

**増田:** 高砂市民病院は地域多機能型病院として、地域の急性期と回復期、そして従来から行っている緩和ケアなどの役割を担っていただきたいと思います。つまり、一般的な手術、治療、検査に加え、圏域の中で急性期治療を終えた方がリハビリを行いながら自宅復帰を目指す、更には、在宅医療のバックアップ医療などをしていくことが大切だと考えます。

**大野:** 面倒見の良い多機能な病院ですね。

**増田:** そうです。高砂市民病院には、診療所との敷居の低い連携を行い、住民の方々が安心して医療を受けられるような身近な医療体制を作っていただけることを期待します。

そのためには、医師会を含め地域診療所は、できる限りの連携、協力を続けていきたいと思っています。

**大野:** 増田会長、どうもありがとうございました。

(敬称略)

# 「発達性読み書き障害」

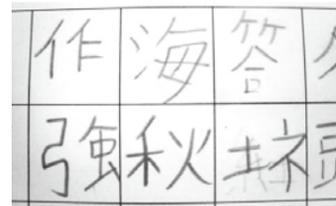
(ディスレクシア)



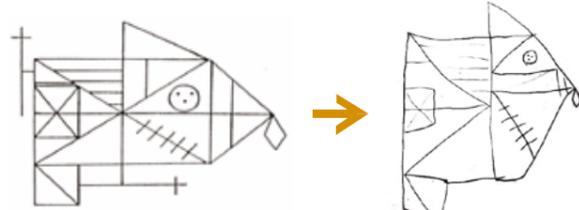
言語聴覚士 杉下周平

## ○発達性読み書き障害(ディスレクシア)とは

発達性読み書き障害とは知的な遅れや、視力や聴力の障害なく、十分な教育を受け本人も努力しているにもかかわらず、読み書きの習得に著しい困難を抱える障害です。その原因として、先天的な大脳機能障害による音韻処理能力(音と文字を対応させる能力)や視覚認知能力(対象を捉える能力)の脆弱さが影響していると言われています。そのため、発達性読み書き障がい児は通常の学習方法では、読み書きの習得が著しく困難となります。発症率は8%と報告されており、クラスに1~2名程度はいると考えられます。



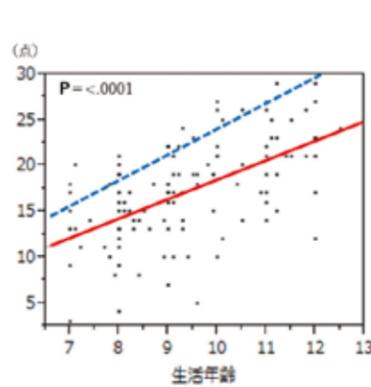
漢字の一部誤り(作、強)、鏡文字(社)



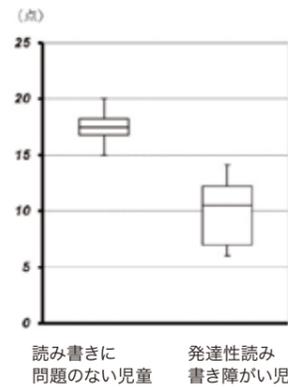
視覚認知障害を主症状とする  
発達性読み書き障がい児(4年生)の模写能力

## ○読み書きの習得が遅れることで生じる二次障害

読み書きの習得の遅れは、語彙(知っていることばの数)の発達を遅らせることがあります。右記に、通常級に在籍する読み書きに問題ない児童と発達性読み書き障がい児の語彙力検査(1年生から6年生)と国語の読解力テスト(3年生)の結果を示しています(未発表データ)。発達性読み書き障がい児では語彙量が少なく、読解力が低下していることがわかります。このように、読み書きの習得の遅れは、語彙力の発達に影響し、学習全般に支障を来します。高学年で読み書きの問題が発見された児童の多くは、周囲から「やる気がない」「努力不足」と誤解され、自己肯定感が低くなり自信や意欲を失い、やがて不登校などの問題に発展することも珍しくありません。そのため、早期に子どもが困っていることを発見し、適切な療育を開始できるシステムの構築が求められています。



語彙検査の結果(小1~小6)  
読み書きに問題のない児童 301名(青線)  
発達性読み書き障がい児 98名(赤線)



読解力検査の結果(小3)  
読み書きに問題のない児童 55名  
発達性読み書き障がい児 30名

## ○高砂市民病院小児科の取り組み(読み書き専門外来)

高砂市民病院小児科では、公立病院が担うべき医療の一つとして、総合的に子どもの発達に寄り添うために言語外来(発音、ことばの遅れの外来)と、協調運動外来(バランスや手先の協調性の外来)\*、そして読み書き専門外来を開設しています。診療は小児科医、看護師、言語聴覚士、作業療法士、臨床心理士で行っています。

読み書き専門外来とは、読み書きに問題を抱えたお子さんのサポートに特化した外来です。昨年度の初診患者数は124名で、兵庫県内だけでなく県外からの利用も多く、これまでに海外からも受診されています。読み書き専門外来では、読み書きの習得を遅れさせる原因を明らかにするための検査を行い、それぞれの子どもの特性に合わせた学習方法を指導しています。また、お子さんへのサポートには教育との連携が不可欠と考え、検査終了後は今後の支援方法について話し合いの場を設け、学校と保護者と連携してサポートにあたっています。

しかし、高学年となり、読み書きだけでなく学習全般に

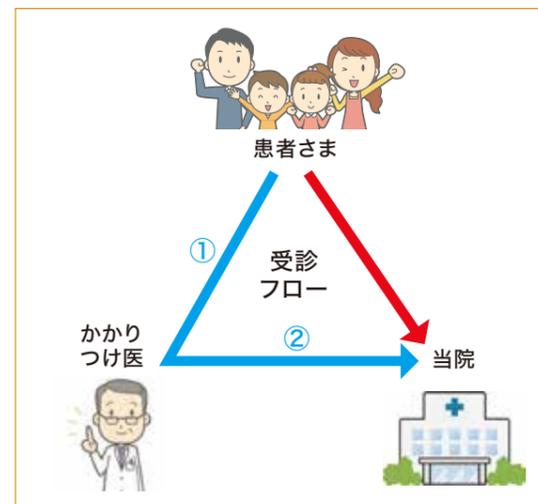
遅れが生じていたり、既に二次障害を引き起こしている場合には有効な手立てが得られないことがあります。私たちは、このような経験をもとに、読み書きのスクリーニングテストの導入を希望する学校には、検査法を指導し早期発見のお手伝いをしています。実際に学校でスクリーニングテストを受け、1年生で結果をもって当科を受診されるお子さんも増えてきており、この取り組みが早期発見の一助になっていると感じています。

読み書き専門外来を開設して十年になりますが、検査、治療は着実に進歩しています。早期発見により多くの問題を軽減できるようになってきています。私たちは、読み書きに問題を抱えるお子さんと家族が、将来に希望を持てる支援を目指しています。

\*読み書き専門外来を受診された方が対象の外来となります。

## ■発達性読み書き障害の症状

読字障害	書字障害
<ul style="list-style-type: none"> <li>・文字を一つ一つ拾いながら読む(逐次読み)</li> <li>・不自然な区切りで読む</li> <li>・初めての文章を読むのが苦手</li> <li>・一度の音読で内容が理解できない</li> <li>・文末を自分で読みかえる (例:「...でした。」→「...でた。」)</li> <li>・本を読むと疲れる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カタカナの習得に時間がかかる</li> <li>・特殊音節(小さいや、ゆ、よ、っ)が上手く使えない</li> <li>・漢字が覚えられない、すぐに忘れる</li> <li>・鏡文字になる</li> <li>・画数の多い文字が覚えられない</li> <li>・形態の似た文字をよく誤る</li> <li>・黒板を写すのに時間がかかる</li> </ul>



## 当院受診の流れ

### 当院受診

当院の外来を受診してください。

### 連携機関からのご紹介

- ①他院を受診された方は、紹介状をお持ちください。
- ②保険証、書類一式を持って当院受診となります。

詳細はこちら→



# 新任医師 紹介

新たに6名の医師が  
着任しました。



い で あかね  
氏名:井手 茜  
専門:内科  
専門医:総合内科専門医  
甲状腺学会専門医  
趣味:映画鑑賞、美術鑑賞  
好きな食べ物:寿し、ステーキ  
座右の銘:石の上にも三年

### 患者さまへの挨拶

自分の体とうまくつきあうことは、やさしいことではありません。皆様の健康状態や病気についてわかりやすい説明を心がけます。

### 地域の医師への挨拶

先生方とのスムーズな連携が患者さん達の早期回復につながると思っています。いつでもご気楽にご相談ください。



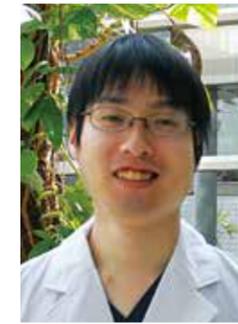
ふくなが ともこ  
氏名:福永 とも子  
専門・専門医:眼科一般 小児眼科  
ロービジョン  
趣味:料理  
好きな食べ物:プリン  
座右の銘:自分の身の丈で  
出来ることをする

### 患者さまへの挨拶

4月より眼科に赴任いたしました福永とも子です。患者さまの目線になって診療する事を、日々心がけております。毎日の生活の中で、目に関して不安に思うことがございましたら、ご相談ください。

### 地域の医師への挨拶

4月より高砂市民病院眼科に赴任いたしました福永とも子です。製鉄記念広畑病院、神戸大学医学部附属病院、兵庫県立こども病院、新長田眼科病院を経て、この度の赴任となりました。部長の菅原先生の元で地域に貢献できますよう頑張りますので、よろしくお願いたします。



もがみ ひろゆき  
氏名:最上 裕之  
専門・専門医:形成外科  
趣味:テニス  
好きな食べ物:寿し、焼き肉  
信念・モットー:努力

### 患者さまへの挨拶

傷やできもの、しみなどを中心に診察します。何か気になることがあればご相談ください。

### 地域の医師への挨拶

高砂市の形成外科疾患(急性創傷、慢性創傷、皮下腫瘍、眼瞼下垂etc.)で地域医療に貢献できるよう頑張りますので、宜しくお願い申し上げます。



いのうえ ただし  
氏名:井上 忠俊  
専門:整形外科  
趣味:ランニング、ボルダリング、  
スノーボード  
好きな食べ物:ハンバーグ  
座右の銘:初心忘れるべからず

### 患者さまへの挨拶

親身に、患者さまの気持ちに寄り添えるようになればと思います。よろしくお願いたします。

### 地域の医師への挨拶

初めまして。1月から高砂に来たばかりで、まだ慣れないことも多いですが、地域に根ざした医療に貢献できるよう努めて参ります。どうぞよろしくお願いたします。



<臨床研修医>  
とくだ かずき  
氏名:徳田 和樹  
趣味:作曲、マラソン、映画鑑賞  
好きな食べ物:オリーブ  
座右の銘:実るほど頭を垂れる  
稲穂かな

### 患者さまへの挨拶

患者さまに信頼していただける医師となれるよう、日々努力を重ねる所存です。どうぞ宜しくお願申し上げます。

### 地域の医師への挨拶

研鑽を積み、日本の医療に貢献できる医師となれるよう頑張ります。ご指導ご鞭撻のほど何卒宜しくお願いたします。



<臨床研修医>  
かとう あゆみ  
氏名:加藤 歩  
趣味:茶道  
好きな食べ物:お好み焼  
座右の銘:一日一善

### 患者さまへの挨拶

寄り添えるような医療が出来るようになりたいと思っています。よろしくお願いたします。

### 地域の医師への挨拶

日々努力を惜みず、尽力します。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。

### 【退職医師】

内科	池村 恵
内科	大山 敦嗣
循環器内科	池田 嘉弘
循環器内科	田辺 慶司
形成外科	福島 侑子
臨床研修医	田邊 真生
臨床研修医	岩根 友佳子
常勤嘱託	石田 貢一



## ぶらり、診療所紹介の旅

～もっと知りたい、地域のお医者さん～

### 増田内科医院 院長 増田 章吾

私は平成8年に、生まれ育った神爪の地で内科医院を開業しました。

医院の建築では、まず瓦屋根、木造建築にこだわりました。建築中、その外観から食器の販売業者が喫茶店と間違っセールスに来たことも懐かしい思い出です。また、患者さんが一番長く過ごすと思われる待合室は、広く取って、柱がなく、見渡せるようにして、ゆったり座れるようなソファを用意しました。患者さんが、少しでも癒やされるように、入口には季節の花々を絶やさないようにしています。

開業して24年が経ちましたが、開業当時と同じように、今後も地域のための医療を続けていきたいと思っています。

診療情報はこちら ▶ <http://www.eonet.ne.jp/~masutanaika/> ☎079-433-1313



### 荒川クリニック 院長 荒川 俊雄

私は23年前、高砂市民病院と道を隔てて南東に向かい合っ開業しました。専門は内科、腎臓病、透析です。私と本病院とのご縁は、36年前に内科医員として赴任した時に始まります。その時お目に掛かった後藤先生(前名誉院長先生)が、一生の恩師となりました。

私の趣味は園芸で、様々な苗を買ってきては、プランターなどに寄せ植えします。そして花が咲くと、日頃の疲れも消えてしまうほど何とも嬉しい気分になります。今は、毎年決まった時期に咲く宿根草を幾つも植え、春にはこれ、夏にはこれといった感じですが、これからもう少し難しい花に挑戦しようと思っています。

診療情報はこちら ▶ <http://www.arakawa-clinic.jp/> ☎079-443-5566



# 部署紹介 中央放射線室

中央放射線室では健康を守る放射線の専門家として診療放射線技師が11名在籍しております。主な業務は、画像診断の支援として画像検査を実施しています。また、院内においてチーム医療の一員として行動しています。私たちは、患者さまにやさしい医療を目標に、安心して検査を受けていただけるよう日々業務を行っておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

## 一般撮影

X線を使用し、影絵のようにして胸腹部や骨の状態を描出します。肺炎や腸閉塞、骨折などがわかります。



## マンモグラフィ

X線を使用した乳房専用の撮影です。乳房を圧迫して撮影します。早期乳がんの発見に有効です。



## 透視検査

X線を使用し、動画を見ながら撮影できます。胃や腸の検査や、骨折の治療などが可能です。



## CT(コンピュータ断層撮影)

X線を使用し、胸腹部、脳出血、骨折などを、輪切りや3D画像で描出できます。造影剤を使用することにより血管もわかります。



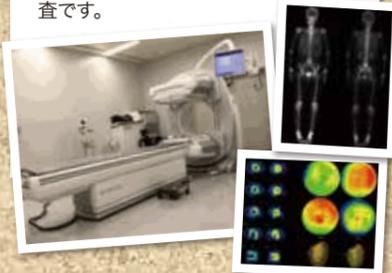
## MR(核磁気共鳴画像法)

磁石を利用して身体の構造を鮮明に観察する検査です。頭部をはじめ全身の検査が可能です。



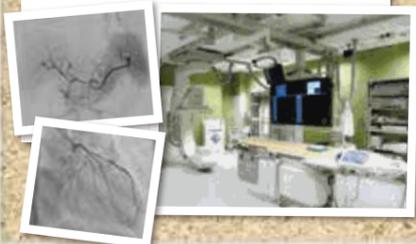
## RI(核医学検査)

微量の放射性医薬品を体内に投与して、臓器の機能や全身の骨を調べる検査です。



## 血管造影

X線と造影剤を使用し、血管を動画で描出できます。また、狭くなった血管の治療が可能です。



## 骨密度測定

DXA法(二重エネルギーX線吸収法)で腰椎と大腿骨近位部を測定しています。骨粗鬆症の予防や薬物治療の判定効果に優れています。また今回、海綿骨微細構造を評価できる解析ソフトTBSを導入しました。2型糖尿病やステロイド性骨粗鬆症に有用とされています。



最新の機器を導入しました!

# 幼児作品展

患者さまやご家族の癒しとなるよう、市内の公立幼稚園・保育園・認定こども園に通う子どもたちの作品を温室横に展示しています。



額縁は「阿弥陀こども園」の皆さん、4月・5月展示の作品は「高砂こども園」の皆さんが作ってくれました。各施設に協力していただき定期的に交換していく予定です。来院の際は心が温まる作品をご覧ください。



# 健康レシピ

## アスパラガスの春巻き

— 皮がパリパリ、香ばしいチーズ風味の一品です —

1人分のエネルギー 140kcal 食塩相当量 0.7g



### <材料(2人分)>

グリーンアスパラガス……………2本  
春巻きの皮……………2枚  
①小麦粉……………小さじ1杯  
②水……………小さじ1杯  
ハーフベーコン……………1枚(縦長に4等分に切る)  
スライスチーズ……………1枚(縦に4等分に切る)  
揚げ油  
塩コショウ……………少々

### <作り方>

- ①アスパラガスは根元を1cm切り落とし、下のかたい皮をピーラーで薄くむく。
- ②アスパラガスを耐熱皿に並べ、水少々を振ってラップをし、600Wの電子レンジで40秒加熱して冷ましておく。
- ③Aは混ぜ合わせておく。
- ④春巻きの皮の中央にベーコンとスライスチーズを各2切れ並べて、アスパラガス1本を重ねて置いて巻き、巻き終わりにAをつけてとめる。
- ⑤フライパンに5mmの高さまで油を入れて中火で熱し、④をきつね色になるまで揚げ焼きにする。
- ⑥2つに切って器に盛り、塩コショウをふる。

## POINT

アスパラガスの旬は4月～6月の春から初夏にかけて。葉酸やルチンのほか、疲労回復に効果があるとされているアスパラギン酸を含んでいます。

## 患者さまへのお知らせ

### ホッとひと息寄り道講座

時間:10:00~10:30  
場所:高砂市民病院玄関ホール

5月20日(水) テーマ:振り込め詐欺

6月17日(水) テーマ:認知症予防

7月15日(水) テーマ:高齢者の飲み込む力と誤嚥性肺炎

※講座日は変更することもあります。

### 生活習慣病予防教室

年間テーマ:元気に過ごそう 100年時代  
～生活習慣を見直そう～

詳細については当院のホームページをご覧ください。

# 第11回 高砂市医師会生涯教育研修会 報告

## 特別講演 「動脈硬化性疾患予防についての最新の治療戦略」

神戸大学大学院医学研究科 内科学講座 循環器内科学分野  
教授 平田 健一 先生

令和2年2月27日に、高砂市医師会生涯教育研修会が高砂市民病院を会場に開催されました。

当院院長の永田と、多木眼科の多木先生の挨拶からはじまり、平田先生による特別講演がありました。

健康寿命と動脈硬化性疾患の関わりや、最新の治療方法などご教授していただきました。



## オープン カンファレンス開催のお知らせ

場所：高砂市民病院 2階講義室

日時：6月25日(木) 17:30～「医療安全」

8月27日(木) 17:30～「医療と介護の連携」

※オープン カンファレンスは医療従事者のみ対象、一般の方は参加できません

## 学会発表 ～症例と取り組み～

薬剤科 副薬局長 有本 忍

第35回日本環境感染学会総会

演題名：「抗菌薬適正使用支援チームの活動報告と今後の課題」

薬剤科 木下 祐未

第41回日本病院薬剤師会近畿学術大会

演題名：「レンバチニブ投与患者への服薬・副作用状況サポート」

薬剤科 宮川 明宏

第41回日本病院薬剤師会近畿学術大会

演題名：「緩徐進行型1型糖尿病(SPIDDM)と診断された患者の低血糖を改善した一例」



Takasago Municipal Hospital

高砂市民病院 広報広聴委員会 広報紙編集チーム

〒676-8585 兵庫県高砂市荒井町紙町33番1号

TEL 079-442-3981 FAX 079-442-5472

URL <http://www.hospital-takasago.jp>

高砂市民病院 検索



研修やオープン カンファレンスなどの内容は、ホームページをご覧ください。

また、当院の活動については公式Facebookページをご覧ください。

通算 139号